

地質サイトカード

カードNo.		A-②-6		通しNo.		23		作成日		2024/7/19	
サイト名		半島東端の岬～地蔵崎									
基本情報	エリア	島根半島 眺望サイト									
	区分	☑地質・地形		☑生態		☑文化					
	利用価値	☑科学		☑教育		☑観光・ツアー					
	所在地	松江市美保関町美保関									
	アクセス	松江だんだん道路川津ICから約28km、約40分。									
	周辺施設	☑トイレ ☑売店 ☑飲食店 ☑駐車場(台) ☐ウォーキングコース ☐サイクリングコース ☐観光施設(美保関灯台、美保関灯台ビュッフェ)									
	看板整備	トイレ壁面に1枚設置									
	留意点										
保護・保全	法規制・関連団体等	大山隠岐国立公園									
	保全メモ										
サイトの解説	みどころ	島根半島東端に位置し、“大陸分裂の時代”の地層の上に、山陰最古の美保関灯台が建つ。									
	地質・地形	日本海形成以前の“大陸分裂の時代”の地層(古浦層の砂岩・泥岩・凝灰岩)が露出し、1898(明治31)年に世界の歴史的灯台100選の1つでもある美保関灯台が、海岸に分布する砂岩(森山石と呼ばれる)を使用して建てられた。門扉に使われた森山石は、現在、風化作用によって砂が堆積した約1900万年前の湖岸域の水の流れの様子を示している。									
	歴史・文化 生物・生態 等	美保関灯台は、2022(令和4)年に国指定重要文化財に指定されており、1998(平成10)年にはIALA(国際航路標識協会)の総会において、歴史的・文化的価値のある文化遺産として「世界の歴史的灯台100選」に選ばれた。 また、海岸沿いの岩上に、絶滅危惧種であるフナバラソウの生育が知られている。									
写真・図等											
参考文献		鹿野和彦・中野 俊(1985)美保関地域の地質、島根半島四十二浦巡りの旅、島根の地形・景観・奇岩									